知名町
あなたと議会を結ぶ
議会だより
NO. 149

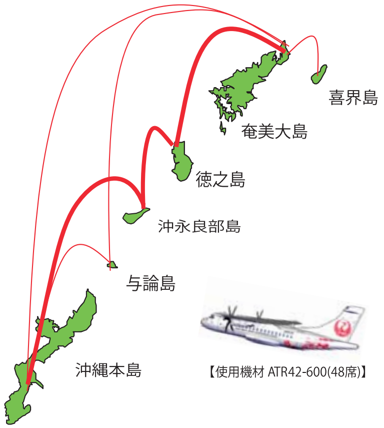
●発　行：鹿児島県知名町議会
●編　集：議会広報委員会
●発行日：平成30年７月25日
●〒891-9295
鹿児島県大島郡知名町知名307
TEL 0997-93-3119

奄美群島アイランドホッピングルート開設

2018年７月１日開設（ＪＡＣ35周年創立記念日）

島めぐり交流人口拡大に期待

奄美大島　発	9:05
↓	
徳之島　着	9:35
徳之島　発	10:05
↓	
沖永良部　着	10:35
沖永良部　発	11:05
↓	
沖縄(那覇)　着	11:50



【使用機材 ATR42-600(48席)】

奄美大島　着	15:45
↑	
徳之島　発	15:10
徳之島　着	14:40
↑	
沖永良部　発	14:10
沖永良部　着	13:35
↑	
沖縄(那覇)　発	12:35

（写真提供・奄美新聞社）

初便を見送る関係者たち

主な内容

◆ 第２回定例会のあらまし …… 2
◆ 一般質問 …… 3～11
◆ 第２回定例会で審議された案件 …… 12
◆ 議会の動き …… 13
◆ 政治倫理条例の制定／編集後記 …… 14

ちなボー
知名町マスコットキャラクター

平成30年 第２回（６月）定例会

第２回定例会のあらまし

知名町議会第２回定例会は、６月19日から22日までの日程で開かれました。今定例会では９名の議員が登壇し、町政発展のための活発な議論が交わされました。

報告案件は、繰越明許費繰越計算書（一般会計）、第２期保健事業実施計画兼第３期特定健康診査等実施計画、第４期障がい者計画・第５期障がい福祉計画・第１期障がい児福祉計画、並びに高齢者保健計画、第７期介護保険事業計画についての報告がありました。

議案は専決処分事項の承認案件、知名町税条例等の一部を改正する条例など２件、平成29年度一般会計や特別会計の補正予算９件を承認。

単独議案では知名町子ども医療費助成条例の一部を改正する条例などを原案可決、水槽付消防ポンプ車購入に係る物品売買契約の締結１件を可決し、陳情１件を採択しました。議員発議による知名町議会議員政治倫理条例を原案可決しました。

また、平成30年度一般会計補正予算他２件を原案可決しました。

一般質問

９名の議員が町政を問う

一般質問は、行財政全般にわたる政策論議の場であり、より良い町政を目指して町政の各方面にわたって一般質問が行われました。

３ページから掲載の内容は、各質問者が執筆した主な項目についての質問と答弁の要旨であり、文責は質問者にあります。

（質問順に掲載）

○　**今井　吉男　議員**

1．沖永良部与論地区広域事務組合への本町負担金（平成30年度当初予算で１億3,000万円）に見合う役職配置について

○　**福井　源乃介　議員**

1．知名漁港の製氷施設（製氷機器）の更新について
2．出産祝い金制度の拡充について
3．町道知名新城線（上城小学校～新城間）の改良・側溝整備について
4．フラワーロードプロジェクト構想の推進について
5．町民総兼業農家構想の推進について

○　**宗村　勝　議員**

1．農作業時における農機具による事故防止について
2．通学路の防犯灯設置について
3．農業振興について

○　**西　文男　議員**

1．ふるさと納税について
2．第３正名池について

○　**中野　賢一　議員**

1．民間資金活用事業（ＰＦＩ）について
2．ＬＥＤ推進事業について
3．知名町の公共施設（建築物）等について
4．集落の活性化について

○　**大蔵　哲治　議員**

1．新庁舎建設について
2．老朽化した公共施設の整備について
3．桑茶事業の見直しについて
4．バレイショ生産者に支援を

○　**外山　利章　議員**

1．庁舎建設計画について
2．園芸振興について
3．地域資源活用に向けた取組について

○　**奥山　直武　議員**

1．福祉関連について
2．教育行政について
3．行政全般について

○　**根釜　昭一郎　議員**

1．人口減少問題について

今井吉男 議員

負担金に見合う役職配置を

町長／構成町のバランスを保つ

問 沖永良部与論地区広域事務組合の署長は、3月まで知名町採用職員でしたが、4月1日付け人事異動により、新署長に和泊町採用職員が昇格、その結果、署長、消防長、総務課長、介護保険事務局次長（事務局長は消防長が兼務）の役職は和泊町採用職員が独占する人事となった。知名町採用職員にも優秀な人材がいるにもかかわらず、バランスを欠く役職配置だと考える。来年度は町負担金（平成30年度当初予算1億3千万円）に見合う役職配置を強く要請する。

沖永良部与論地区広域事務組合本署

答 町長＝幹部職員の役職は構成町のバランスを保つことは重要な事項であるが、近年、広域事務組合職員の中には、豊富な経験と幅広い知識を有する人材があり、適材適所での配置を行っている。

問 広域事務組合の人件費は、予算総額の実に82％を占めている。増加傾向にある人件費を抑制し、町消防団員の出動手当等の引き上げはできないか。

答 町長＝沖永良部与論地区広域事務組合は、構成する知名町、和泊町、与論町からの負担金で運営しており、人件費等の義務的経費の占める割合は高い状況にあるが、近年、消防本部が行う消防、救急救命活動は年々増加傾向にあり、消防力の指標となる職員数の充足率は低く、職員への負担が懸念されている。消防団員の報酬額については、地域の実情に応じて、各市町村が条例で定めることとなっている。直近の報酬額の改定は平成12年3月定例会で上程、可決されている。消防団員は町の非常備の消防機関であり、本業を持ちながら、自からの地域は自分たちで守るという郷土愛のもと、予防消防活動、災害現場での消防活動等を行っており、町としても、消防団員の使命感と献身的活動に少しでも報いることができるように、報酬の適正化に取り組む。

正名・竿津分団が消防操法大会へ

問 現在、社会問題となっている、いじめやパワーハラスメントの予防策の一環として、定年退職まで消防署勤務とせず、平成27年度まで実施していた構成町との人事交流の再開はできないか。

小型ポンプの部竿津分団（大和村大会）

答 町長＝消防署との人事交流については、平成27年4月1日以降行っていませんが、今後の人事交流については、構成3町での協議が必要となる。また、いじめやパワハラ防止については、大変重要な要件であることは、十分認識しており、職場からパワハラをなくすることを明確にしていく。

〈参考〉3月定例会で「知名町いじめ問題調査委員会設置条例」が可決。

大山展望台周辺に「花の島公園計画」は

町長／「健康の森公園」「スポーツ・憩いの森公園」と位置づけて、総合的に整備する必要がある

福井源乃介議員

問 フラワーロードプロジェクトとは、道路沿いや空き地を利用した花いっぱい運動であり、推進すべきでは。

答 町長＝町内の道路沿いは雑草が繁茂しており、観光客のみならず町民からも「花の島」と言い難いと聞いている。道路沿いの植木や花壇を、それぞれの字の皆さんが手入れしやすいよう町も最小限の支援は必要と考えている。

花が咲き誇る島づくりへ

問 大山展望台周辺や野営場にかけて、緋寒桜並木と連動した「花の島公園計画」が必要ではありませんか。

答 町長＝大山周辺を憩いの場とするようなセンターガーデンとして整備を行い「健康の森公園」「スポーツ・憩いの森公園」として位置づけて、総合的に整備する必要がある。また、世界自然遺産「奄美トレイル」指定の場所が町内に3か所あり、これらのビューポイントもしっかり整備し、町民が普段から楽しめる場所に整備することも構想に入れています。

問 老朽化による故障で閉鎖されている知名漁港の製氷施設・製氷機器は早急に更新すべきではありませんか。

答 町長＝漁業施設としてではなく、町の活性化や商店街の活性化を視野に町の施設として内陸部に新設できないか検討しています。

問 本町の出産祝い金制度は第3子からとなっているが、制度の拡充・法整備を急ぐべきではありませんか。

答 町長＝現在さらに少子化が進んでいることや、誕生した全ての新生児を祝福する意味も含めて来年度から、第1子からの支給を検討しています。金額や支給方法等については、今後検討を進めていきます。

問 町道の知名新城線（上城小学校～新城間）は、交通や通学路の安心安全を確保するため改良・側溝整備の計画策定、早期実現を図るべきではありませんか。

答 町長＝現在側溝整備だけの補助事業がなく、事業採択に至っていない状況である。道路改良として実施する場合は、道路周辺地権者の同意書を添付した要望書の提出を頂いて、事業実施が可能か検討したいと思います。

ＪＡあぐの広場（知産知消）

問 町民総兼業農家構想は、地産地消・自給自足・特産品の開発等を推進する為の方策であります。家庭菜園の普及拡大や自家生産野菜の出荷など、外にじゃぶじゃぶお金を流すのではなく、島の中でお金が回る仕組みを考えていく必要があります。

知名のものをみんなで食べよう（知産知消）

答 町長＝議員ご指摘の通り本町は多くの農産物を生産し島外へ出荷している反面、主要な野菜の大半は島外から買い入れている状況にあります。

地域内の経済循環を図るため地産地消・自給自足・特産品開発は、人口減少や高齢化が進展する中で地域活性化を図る上で重要な取り組みであり、今後も、地域内での経済循環を促進するため、地産地消・特産品開発などの取り組みに対し、町としてできる支援・サポートを充実させていきます。

宗村　勝　議員

農業機械等による事故防止について

町長／農作業安全対策の推進に努める

問 農作業時における農業機械等による事故防止について。近年農業機械の大型化等による事故が後を絶たない状況にあります。鹿児島県は今年二月からの短期間に5件の農作業死亡事故が発生し事故多発警報を発令し安全対策を講ずるために徹底した注意を呼び掛けています。非常に残念でありますが本町におきましても死亡事故が発生しております。関係機関が連携して農業機械による事故防止のための安全指導等をしていただきたいと思います。

答 **町長＝**機械化や高齢化の進展に伴い農作業事故の発生が増加し、農作業中の死亡事故が全国でも多発しております。他産業と比べても農作業事故が突出しています。このようなことから、本町においてはこれまでも農作業安全対策の推進として

1 農業機械士の育成
2 農繁期の事故防止についての防災無線放送
3 ポスター掲示等による農作業事故ゼロ運動の実施
4 農作業安全講習会の開催等に取り組んで参りました。

本年度はさらに取り組み強化年として、専門家を招いた講習会や、農協や利用組合と連携した講習会などの追加実施を計画しております。また関係機関と協力し様々な機会をとらえて啓発活動を行い、安全意識の向上に努めて参りたいと考えております。

農業機械事故防止講習会

農作業事故ゼロ運動

問 通学路における防犯灯設置について。子供たちが通学に利用する通学路に防犯灯の設置がされていない箇所が数多くあると感じます。子は宝といわれています。子供達の安全安心の為に早期に防犯灯の設置を望む。

防犯灯設置推進を

答 **教育長＝**防犯灯の設置につきましては各字から要望書を提出していただき、設置については町が行い維持管理については各集落で行う事としております。町内の通学路で防犯灯が設置されていない箇所は今のところ把握しておりませんが、小中学校、PTA、区長が協議のうえ、区長から要望書を提出していただければ検討したいと思います。

問 農業振興について。農業生産に欠かせない肥料の高騰や生産物の価格低迷により農家経営が逼迫しております。沖永良部農業開発組合の有機肥料や液肥センター等の液肥を農家に安価で供給して農家の土作り政策を勧めて所得増進を図るべきではないか。

答 **町長＝**土づくりは農業生産を行う上で最も重要であり、町農業振興計画の中でも重要な施策として取り上げ、土づくりの推進に努めております。いずれにしましても、土作りは農業振興を図る上で極めて重要で基本となることですので、引き続き推進して参りたいと考えております。また、農家独自の堆肥場の補助事業等の導入も検討して参りたいと思います。

有機肥料投入による地力増強を

ふるさと納税について

西　文男　議員

町長／平成29年度は、納税者202名から11､431､000円

問　現在の納税者数、及び金額はどれぐらいになっているか。

答　町長＝平成29年度は、納税者202名、11、431、000円で、ふるさと納税制度が開始された平成20年度から29年度までは、納税者756名、金額は53、432、500円となっています。

問　ふるさと納税者への返礼品はどうなっているか。

答　町長＝現在16品の返礼品がありますが、季節ものである「バレイショ、切り花のえらぶユリ、グラジオラス」の3品は準備中でありますので、それらを除いた13品が申込み可能となっております。

問　ふるさと納税の活用について。町のどの部分に利用されているか。

答　町長＝平成29年度は、くり舟の整備を行い、くり舟競争艇3隻を導入しております。また、広報紙においても情報を掲載しております。

問　ふるさと納税についての今後の展開について町はどのように考えているか。

答　町長＝ふるさと納税について。件数及び納税額は年々少しずつですが増加傾向にあります。ただし、先ほどの質問にもありましたように、返礼品の品数が少なく、また金額のバリエーションがないため高額のご寄附が少ないのが現状です。今年度、ふるさと納税にかかる業務を委託し、地元事業者との連携による返礼品の掘り起こしやプロモーションを行うことにより、更なる納税額の増加を見込んでいます。

問　ふるさと納税者に、返礼品等のアンケート、年賀状、広報ちな等を送付しているか。

答　企画振興課長＝現在までは返礼品のアンケート等は行っていません。今後は納税者に年賀状等送付したいと思います。

問　第3正名池の貯水方法はどのような方法で貯水しているか。

答　町長＝第3正名池は、貯水量1、700立方メートルと町内では非常に小さい溜め池に分類されます。貯水方法は、正名集落内の井戸からポンプにて揚水し使用しているところです。

問　老朽化した第3正名池の改修工事は出来ないか。

答　町長＝第3正名池は、平成6年度に県単事業にて造成、平成21年度に地域活性化・経済対策臨時交付金により一部シートの改修工事を行っており、年4回の水量調査においてもほぼ満水状態となっていることから今のところ改修工事の予定はございません。

問　道路に横断側溝を入れて道路排水を第3正名池に流入出来ないか。もちろん土砂溜、洪水吐けを併せて施工すること。以前にシートが破損しポンプアップの電気代が月約50万円もかかり組合員の負担が大きかった過去もあるため、少しでも負担軽減に繋げられないか。

答　耕地課長＝現在、第3正名池については漏水等が無いためシートの改修工事は難しいと考えます。ただ、受益者負担軽減を図るための道路排水の引き込み工事については、財政を見ながら検討してみます。

本町の魅力あるふるさと納税返礼品の1例

焼酎・コーヒーリキュール

グラジオラス

えらぶユリ

きくらげ

第3正名池

中野賢一 議員

民間資金活用事業（ＰＦＩ）について

町長／可能性について研究を進める

問 **国庫補助金の交付が予定されている事業は。**

答 **町長**＝平成30年度予算においては、文部科学省の補助事業で給食センターを、国土交通省の補助事業で知名C団地B棟建設、小米古里線舗装工事などの道路事業を予定しております。

問 **知名町においてのＰＦＩ事業の予定はないか。**

答 **町長**＝今現在、庁舎内にはＰＦＩ手法に関するノウハウがないため、事業として相応している事業はどういうものか、また、コスト削減や行政サービスの向上が見込めるか、地元（業者）にどの程度経済的効果が見込まれるかなど不明な点が多いため、まだ勉強中の段階です。今後は、専門家を招いての研修会などの開催を通して、本町事業へのＰＦＩ導入の可能性について研究を進めていくことも必要ではないかと考えております。

問 **ＰＦＩ事業では国庫補助金はどうなるのか。**

答 **町長**＝国は、ＰＦＩ事業であっても、国庫補助制度の支援の範囲内で民間事業者に配慮する事としておりますので、補助金はつくものと認識しています。

問 **従来の公共事業と同じように補助金は交付されるのか。**

答 **町長**＝前質問でもお答えしましたとおり、補助金は交付されるものと認識していますが、そこには所管省庁による補助金可否の判断の違いがあると考えられますので、事業導入前に十分な研究が必要だと考えます。

問 **どのようなものに補助金が交付されるのか。**

答 **町長**＝例をあげれば、教員住宅、公営住宅などが考えられます。これについては、ＰＦＩの事業方式（ＢＴＯ、ＢＯＴ等）または施設の種類、所管省庁によって、補助の範囲に違いがあると思われます。

問 **ＬＥＤ推進事業について。街路灯、道路灯、防犯灯それぞれの個数は。**

答 **町長**＝県道の道路灯５ケ所、防犯灯６８７ケ所、うちＬＥＤ１２３ケ所、合計６９２ケ所（ＬＥＤ１２３）。

問 **街路灯・道路灯・防犯灯のＬＥＤ化の計画はないのか。**

答 **町長**＝防犯灯のＬＥＤの照明につきましては平成26年度設置分から導入いたしております。今後設置する箇所についてもＬＥＤ照明が標準と考えておりますので引き続きＬＥＤ防犯灯を設置いたします。既に設置されているＬＥＤ以外の防犯灯につきましては各集落の防犯灯の数を調査しましてＬＥＤへの切り替えを検討いたします。

問 **環境省では、平成24年度から小規模地方公共団体（人口規模15万人未満）におけるＬＥＤ街路灯促進事業（単年度事業）を公募しておりますが知名町での事業計画はあるか。**

答 **町長**＝ＬＥＤ街路灯導入促進事業は地方公共団体が街路灯等へのＬＥＤ導入の計画を策定して環境省がその計画を審査して採択後に事業実施となります。計画策定に当たっては現状の分析、リース、メンテナンスの業者、地域経済の活性化を考慮した地元業者との契約など専門的な知識と自然環境に優しい社会造りが重要だと考えています。ＬＥＤ照明事業導入につきましては今のところ計画はありませんが、先ほどの答弁のとおりＬＥＤの切り替えについては今後検討いたします。地域におけるＬＥＤ照明導入促進事業として、小規模地方公共団体（人口25万人未満）の地域を対象に、中野議員からあるようなＬＥＤ照明導入事業がございます。本町におきましては、現在のところ導入の予定はありませんが、ＬＥＤ照明の要望があるようであれば、全庁的に判断し、調査及び計画策定の導入が必要になってくると思います。

問 **集落の活性化について。**

答 **町長**＝本町は21集落が、それぞれ伝統文化の継承、人材育成、集落美化などを行っており区長を中心に集落の活性化の取り組みがなされています。ご指摘のように全国的な問題の少子高齢化は本町においても進展し各集落においても高齢化率も高くなっており、全体的に若者が少なく感じられています。集落の活性化策につきましては、Ｉ・Ｕターン者の受け入れや地域おこし協力隊や離島留学制度によって島外から人を受け入れることで地域活性化に繋げている事例もありますので、先進的な事例に取り組んでいる市町村を参考に知名町にあった地域活性化策を考えていきます。

民間にできる事は民間に

町長／「老人ホーム」は民営化「桑茶事業」は地方創生推進交付金を活用して新たな試みを

大藏哲治 議員

桑茶事業の収支改善へ

老人ホームの民間移譲へ

問 人口減少が進むなか、行政のスリム化の為「民間にできる事は民間に」と考えるが。

答 **町長＝**養護老人ホーム「長寿園」の在り方検討委員会で、民間移譲が合理的と判断し、6月1日から募集を行っています。桑茶事業は、収支バランスが今なお厳しい状況にあります。早期に収支バランスを改善し民営化できるよう努めたい。

給食センター建て替えについて

問 **給食センターの建て替えは地盤の軟弱さの為、建設予定地が変更されたが、その後どうなっているのか。**

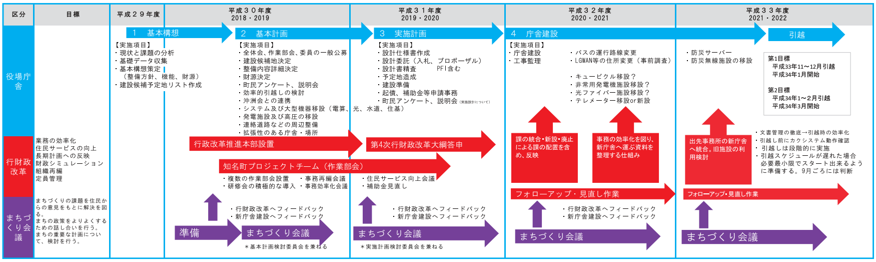
答 **教育長＝**建設用地を求めていましたが、田水団地、老人福祉センターの隣接地に用地を確保できる見込みができましたので、作業を進めているところです。

新庁舎建設について

問 **新庁舎建設の準備はどの段階まで進んでいるのか。**

答 **町長＝**今年度は基本計画を進め、町民の意向を反映すべく、町民アンケート、説明会を実施し、建設地の絞り込み、財源の確保等、平成32年度を建設着工のタイムリミットとし、スピード感を持って取り組んでいます。

子や孫に誇れる町づくりにむけてのスケジュール（一部抜粋）



田水団地の整備について

問 **田水団地の整備はこれから検討に入ると考えるが、高齢者、Iターン、Uターン者受け入れ等を勘案した間取り等計画を要望します。**

答 **町長＝**田水団地の計画は大幅に遅れており、今後他の公共施設との整合性を図りながら、規模等具体的な計画を進めたいと考えております。議員の要望もその中で検討してまいります。

バレイショ生産者の支援を

問 **市場価格の低迷により、生産者は疲弊しています。開発組合の堆肥の半額助成はできないか、又行政として他に実施できる方策はないか。**

答 **町長＝**堆肥の半額助成は南栄糖業の原資で実施しており、他の作物は対象外となっております。町としては税務課において、住民税等の徴収の猶予の制度がありますので窓口で相談していただけたらと思っています。

外山利章 議員

複合施設「食マルシェ」の整備を

町長／町活性化の新たな方策として将来的な整備も視野に

地域資源の活用について

問 町民アンケートでも直売所の取り組み、学校給食への活用、ホテルや飲食店での地元食材の料理提供など「知産知消の推進」を望む声は大きい。そこで中央公民館を庁舎建設に合わせ統合し、跡地には「食マルシェ」を整備してはどうか。文化施設の図書館、観光、島外訪問者の訪れるフローラルホテル、加工施設である婦人センターと集客、人的交流、既存施設の有効活用となり、新たな賑わいの場の創出にも最適だと思われるが。

答 町長＝「知産知消」についての取り組みを更に強化すると共に、将来的には複合施設の整備も視野に入れて、町活性化の新たな方策としてニーズも踏まえ検討していきたい。まずはどのようにまちづくりを進めていくか町全体のグランドデザインを決め、その中で検討していく必要がある。

問 食資源を活用した特産品開発が行えるよう婦人センターの運用見直しは行えないか。

《食マルシェ》地域の食資源を新しいビジネスに

食マルシェの整備を

答 町長＝有効活用に向け、自給野菜の生産者グループとの話し合いなど進めていきたいと考えている。提供できる特産品を確保する上でもできる対策に早急に取り組んでいく。

新庁舎建設について

問 新庁舎は町の将来進むべき方向性を表すシンボル的な施設であるべき。その意味でもSDGs（持続可能な開発目標）の趣旨に沿った再生可能エネルギーの活用として、地下水の熱交換システム導入の可能性は。

答 町長＝地中熱利用促進協会での説明や導入施設の見学など行ったが、環境への配慮、エネルギーの視点からも新庁舎に取り入れるべきシステムだと考えている。今後の導入に向け、国の補助制度を利用し、調査研究を進めていく。

問 住民の利便性の向上と業務の効率化の観点からICT（情報通信技術）導入に向けたシステム環境の整備を行うべきと考えるが。

答 町長＝時間、経費、労力等の削減に繋がることから可能な限り、ICTの導入を進めていきたい。同時に接客など人と人とのつながりによる住民サービスの向上についても取り組んでいきたい。

園芸振興について

問 新たな県のブランド推進の振興方針では産地の地域性がアピールできないのでは。あまみに注目が集まっている今だからこそ地域特性を活かした販売戦略をとるべきでは。

答 町長＝産地のイメージを活かしたブランド戦略が重要だと考えている。郡内の首長との会合等を通じてあまみブランドの立ち上げなど提案していきたい。

問 園芸品目は機械化できない部分も多く、規模拡大を目指すうえで、人手不足がネックとなっている。県、国も研修生の条件緩和など取り組んでいるが、町独自の労働力確保の対策が必要ではないか。

答 町長＝繁忙期の労働力不足は生産振興を図るうえでの課題だと認識している。今後、どのような体制で労働力が確保できるか町としても考えていきたい。

障がい者の皆様への役場窓口の対応は

町長／「障がいを理由とする差別の解消に関する職員対応要領」に基づき、明るく丁寧でわかりやすい接遇の実践を行う

奥山直武 議員

問 障がい者の皆さんへの役場窓口の対応は親切丁寧に行われているのか。

答 **町長＝**残念ながら現在でも職員の接遇に対する批判や苦情を聞くことがあり、このことを踏まえ、今後とも障がい者をはじめ全ての来庁者の皆様への窓口対応能力の向上に取り組み、親しみやすい役場の実現に努める。

来客者への丁寧な対応を心がけて

問 視覚障がい者へのバス停でのバス乗り入れの際の運転手の対応は。

答 **町長＝**視覚障がい者の方から、バス利用の申し出をいただいた際は、連絡のあった停留所では特に注意を払い、乗降の手助けをするよう心がけています。

問 **鹿児島市で長期入院する離島やへき地の子どもと、家族のための宿泊施設「鹿児島ファミリーハウス」が開設されて10年になるが町としてのかかわりはあるのか。また、本町から利用された方は何人ぐらいか。**

鹿児島ファミリーハウスの概要

ＮＰＯ法人こども医療ネットワークでは篤志家の協力の下に鹿児島市鴨池２丁目に鹿児島市内の病院に通院あるいは入院する患者とご家族のために宿泊施設を 2007 年７月にオープンさせました。

所在地：鹿児島市鴨池２丁目 19－２（鴨池電停から徒歩１分）

1．１泊１,000 円（人数にかかわらず）
2．原則６泊まで（７泊以上は要相談）
3．全てセルフサービス（清掃も含めます）

※利用に際しては事前登録が必要となります。ご希望の方は主治医までご相談下さい。

鹿児島ファミリーハウス HP より抜粋

答 **町長＝**島外での医療、療育等が必要な児童等に関して旅費助成をしており、申請の際に鹿児島ファミリーハウスを利用された方は３名となっております。

問 **病児、病後児保育事業で町と医療機関との連携はとれないか。**

答 **町長＝**平成19年に病児、病後児保育事業実施要綱を制定し、預かり施設として本部医院と委託契約しております。

病児、病後児保育事業

問 **３月の一般質問である学校での病気休暇を取られた教職員と保護者に対して、どのように対応したのか。**

答 **教育長＝**校長、教頭、ＰＴＡ会長、医療関係者、教育委員会、子育て支援課等で組織する「ケース会議」を開き対処し、今後、良好な学校運営を目指して話し合いを続けているところです。

問 **今後このような事態が起きた場合にはどのように対処するのか。**

答 **教育長＝**今後は、学校だけでなく、「ケース会議」で即対応し、大島養護学校との連携、特別支援教育の研修等に力をいれて対処していきたいと思います。

問 **農業に従事している若者や若い夫婦世帯が地元に住宅がなく通勤農業をしている状況である。後継者の多い芦清良集落、もしくは下平川校区に農業者用住宅の建設はできないか。**

答 **町長＝**現在の公営住宅では農業の担い手に特化した住宅の建設は厳しいかと思いますが、知名町公営住宅等長寿命化計画の見直しを平成31年度予定しているので、公営住宅の分散化を計画することが可能かと思います。また、建設候補地の選定、インフラ整備状況確認は字にお願いすることも多々あると思います。

根釜昭一郎 議員

人口減少問題について

町長／来年度までに6,000人を切るのではないかと予想し危惧しております

問 想定内の人口減なのか。

答 町長＝平成27年度に策定いたしました「知名町まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、国立社会保障・人口問題研究所が算出しております数値が2020年に6,197人、本町の独自数値が6,319人と見通しをたてております。今年（2018年）6月現在の本町人口が6,053人となっており、2年先の数値をすでに下回っており、このままでは来年度までには6,000人を切るのではないかと予想し危惧しております。

問 人口減少の影響は。

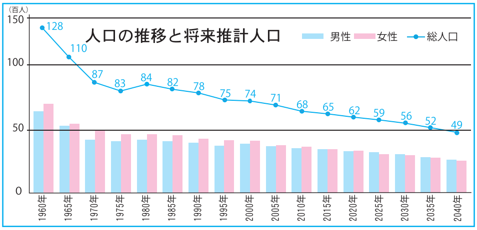
答 町長＝現在のところ将来において影響される具体的な事項やその試算は出しておりませんが、国からの交付税については人口で交付されているため、町の財政に影響すると考えております。教育や農業・商業を含め様々な分野で影響が出てくるものと思っております。大きく分けてひとつめには生活利便性の低下として、

(1)生活関連サービスの低下
(2)行政サービスの低下
(3)公共交通の縮小

が考えられ、ふたつめには地域の魅力の低下として、

(4)耕作放棄地の発生
(5)コミュニティの低下
(6)学校存続問題等

が考えられる。



※出所：1960年から2010年までは国勢調査による人口推移、2015年から2040年までは、社人研による将来推計人口 「社人研」国立社会保障・人口問題研究所

問 雇用創出の一環としての企業誘致は考えていないのか。

答 町長＝I・Uターン者及び若い方々を町内に定住させるために企業誘致や新規起業の立ち上げについては、現段階で特に計画はいたしておりません。

問 継続的な結婚支援・婚活支援事業は計画していないのか。

答 町長＝町としましては、島の資源・文化・歴史等を活用したアクティビティをとおして、人と人との繋がれる場所の創出、誰もが気軽に参加しやすく楽しめるイベントの開催、またそのようなイベントを実施したいという団体への支援ができないか検討したいと考えております。

問 人口減少に抗い、魅力あるまちづくりに向けて強い体制づくりが一刻も早く必要だと考えるがどのように考えているのか。

答 町長＝平成27年度に策定しました「知名町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標が本格的に事業導入などを行いながら動いております。基本目標のひとつとして、「おきのえらぶ島観光力アップ宣言」では、両町にあった観光協会を一本化し、おきのえらぶ島観光協会がエラブココの管理運営を行いながら観光施設の拠点として動いております。また、「サテライトカレッジ開校宣言」では、星槎大学との協定により、島にいながら様々な講座を受けることが出来るようになりました。今後は、総合戦略の基本テーマである「光り輝く未来が「ここ」にある」の実現に向けて、さらに強い体制づくりを進めていきたいと思います。

問 国は地域おこし協力隊の拡充を検討しているが、増員は考えていないのか。

答 企画振興課長＝地域おこし協力隊の増員に関しましては、その在り方・目的等を詰めながら検討していきたい。

ファングル塾による地域活性化への取り組み

平成30年第２回知名町議会定例会で審議された案件

議案番号	付　議　件　名	議決結果
報告第１号	繰越明許費繰越計算書について（一般会計）	報　告
報告第２号	第２期知名町保健事業実施計画（データヘルス計画）兼第３期知名町特定健康診査等実施計画について	報　告
報告第３号	知名町第４期障がい者計画・知名町第５期障がい福祉計画・第１期障がい児福祉計画について	報　告
報告第４号	知名町高齢者保健福祉計画・第７期介護保険事業計画について	報　告
承認第２号	専決処分について承認を求める件について（専決第２号） 知名町税条例等の一部を改正する条例	承　認
承認第３号	専決処分について承認を求める件について（専決第３号） 知名町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	承　認
承認第４号	専決処分について承認を求める件について（専決第４号） 平成29年度知名町一般会計補正予算（第８号）	承　認
承認第５号	専決処分について承認を求める件について（専決第５号） 平成29年度知名町国民健康保険特別会計補正予算（第４号）	承　認
承認第６号	専決処分について承認を求める件について（専決第６号） 平成29年度知名町介護保険特別会計補正予算（第３号）	承　認
承認第７号	専決処分について承認を求める件について（専決第７号） 平成29年度知名町後期高齢者医療特別会計補正予算（第３号）	承　認
承認第８号	専決処分について承認を求める件について（専決第８号） 平成29年度知名町奨学資金特別会計補正予算（第２号）	承　認
承認第９号	専決処分について承認を求める件について（専決第９号） 平成29年度知名町下水道事業特別会計補正予算（第２号）	承　認
承認第10号	専決処分について承認を求める件について（専決第１０号） 平成29年度知名町農業集落排水事業特別会計補正予算（第３号）	承　認
承認第11号	専決処分について承認を求める件について（専決第１１号） 平成29年度知名町合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第２号)	承　認
承認第12号	専決処分について承認を求める件について（専決第１２号） 平成29年度知名町土地改良事業換地清算特別会計補正予算（第２号）	承　認
議案第33号	知名辺地総合整備計画の変更について	原案可決
議案第34号	知名町過疎地域自立促進市町村計画の変更について	原案可決
議案第35号	知名町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第36号	知名町子ども医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第37号	知名町道路線名の変更について	原案可決
議案第38号	知名町道路線の廃止について	原案可決
議案第39号	知名町報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第40号	平成30年度知名町一般会計補正予算（第１号）について	原案可決
議案第41号	平成30年度知名町農業集落排水事業特別会計補正予算（第１号）について	原案可決
議案第42号	平成30年度知名町水道事業会計補正予算（第１号）について	原案可決
議案第43号	物品売買契約の締結について （水槽付消防ポンプ自動車住吉分団購入）	可　決
陳情第１号	生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画の策定及び固定資産税の特例措置に関する要望について	採　択
発議第２号	知名町議会議員政治倫理条例の制定について	原案可決
発議第３号	議員派遣の件について 一常任委員長研修会（派遣場所：鹿児島市　派遣期間：平成30年7月12日～13日 派遣議員：大藏哲治議員、外山利章議員）一 一市町村政研修会（派遣場所：鹿児島市　派遣期間：平成30年8月2日～3日 派遣議員：新山直樹議員、外山利章議員、根釜昭一郎議員、 今井吉男議員、福井源乃介議員、宗村　勝議員）一 一議会広報研修会（派遣場所：鹿児島市　派遣期間：平成30年8月28日～29日 派遣議員：新山直樹議員）一	決　定
決定第２号	閉会中の継続調査の件について	決　定

議会の動き

3月

6日・第1回知名町議会定例会　2日目
7日・第1回知名町議会定例会　3日目
8日・第1回知名町議会定例会　4日目
9日・第1回知名町議会定例会　閉会
・要請書提出・航空自衛隊CH-47J機落下物の件（沖永良部島分屯基地）
13日・中学校卒業式
14日・沖永良部島分屯基地落下物現況説明
・廃棄物減量等推進審議会・食品リサイクルセンター運営委員会
17日・認定こども園（きらきら・すまいる）卒園式
・瀬利覚コミュニティ防災センター改修工事完成祝賀会
19日・沖永良部与論地区広域事務組合議会第1回定例会（消防本部）
・沖永良部バス企業議会定例会
・沖永良部衛生管理組合議会（クリンセンター）
20日・平成29年度沖永良部島鳥獣被害防止対策広域連絡協議会（和泊町役場会議室）
21日・平成29年度沖永良部警察署送別会
22日・小学校卒業式
・平成29年度知名町学校管理職等送別会
23日・農業農村整備事業関係機関合同送別会
24日・創作舞踊集団「結華」公演
27日・平成30年第1回知名町交通安全対策町民会議
・知名町コミュニティづくり推進協議会総会
29日・平成29年度知名町防災会議

4月

2日・認定こども園（きらきら・すまいる）入園式
6日・小学校入学式
・中学校入学式
9日・沖永良部高等学校入学式
11日・南西航空方面隊司令官・上ノ谷空将歓迎会
13日・平成30年度転入教職員宣誓式・教育行政説明会
・平成30年度転入教職員歓迎会
16日・国営沖永良部土地改良事業促進協議会 監査
18日・知名町立養護老人ホーム「長寿園」の在り方検討委員会
・正副議長・両常任委員長会
19日・沖永良部地区農業改良普及事業協議会 監査
20日・農業農村整備事業関係機関合同歓迎会
21日・第3回役場庁舎建設基本構想検討委員会
・映画「北の桜守」
26日・平成30年度県政説明会（鹿児島県庁）
・県庁奄美会会員との合同懇親会
・第47回知名町老人クラブ連合定期総会
28日・海のカーニバル2018（ワンジョビーチ）
29日・第19回知名町植樹祭（大山野営場）
・沖泊海浜公園清掃ボランティア作業

5月

7日・日本女子バンダム級　吉田実代選手初防衛祝賀会
8日・離島議長研修会（ウエルビューかごしま）
・離島議長会臨時総会（　〃　）
・離島関係市町村議会議長 懇親会（　〃　）
9日・県町村議会議長会臨時総会（　〃　）
・県町村議会議員研修会（　〃　）
・陳情　県土木部港湾航空課・工事の分割発注について（県議会議事堂）
10日・両常任委員会合同所管事務調査
1日目（種子島（中種子町・南種子町））
11日・両常任委員会合同所管事務調査
・2日目（種子島（西之表市））
・おきのえらぶ島産業クラスター創出拠点完成記念式典（エラブココ）
・おきのえらぶ島産業クラスター創出拠点完成祝賀会（エラブココ）
13日・平成30年度 知名町商工会通常総会 懇親会
・第68回知名町婦人連絡協議会定期総会
14日・沖永良部警察署歓迎会（和泊町やすらぎ館）
16日・第61回奄美群島市町村議会議員大会（徳之島町）
18日・第1回知名町立学校給食センター運営委員会（中央公民館）
・平成30年国営沖永良部土地改良事業促進協議会通常総会（和泊町やすらぎ館）
22日・奄美群島航路対策協議会（奄美市）
・奄美群島広域事務組合臨時総会（奄美市）
・奄美群島大島紬振興対策協議会（奄美市）
・奄美群島地域産業振興基金協会評議員会
24日・沖永良部地区農業改良普及事業協議会通常総会（与論町）
25日・沖永良部農業用廃プラスチック類適正処理推進協議会総会（役場会議室）
30日・第4回役場庁舎建設基本構想検討委員会
31日・公益社団法人知名町シルバー人材センター定期総会

6月

3日・操法大会壮行会
6日・CH-47J機部品落下の原因究明、再発防止に対する回答（町長室）
・議会全員協議会
8日・平成30年知名町消防後援会総会（会議室）
9日・星槎大学協定調印式・交流会（フローラルホテル）
10日・自衛隊隊友会交流会
13日・議会運営委員会（議長室）
17日・島民創作ミュージカル「えらぶ百合物語」
・操法大会訓練視察（あしびの郷・ちな）
18日・知名町糖業振興会役員会（会議室）
19日・第2回知名町議会定例会　開会

航空自衛隊那覇基地ヘリコプターＣＨ-47Ｊカーゴドア落下に関する原因究明、再発防止を求める要請についての回答

１　カーゴドア落下の概要
（１）日時：平成30年３月６日　18時48分頃
（２）場所：沖永良部島分屯基地ヘリポートから南東約200メートル
（３）機種、機番：ＣＨ－47Ｊ　57－4493号機
（４）経過概要：空自那覇基地那覇ヘリコプター空輸隊所属のＣＨ－47Ｊが、錬成訓練において沖永良部島分屯基地ヘリポートに着陸を試みるべく上空偵察中に、カーゴドアが落下。（カーゴドアは回収済み。）
（５）被害：なし

２　推定原因
　本年２月に同隊で行った定期検査において、整備員がカーゴドアの取り外しを行った際、カーゴドアのロック機構の内部構成品が損傷。このため、カーゴドアを取り付ける際にロック機構が完全なロック状態にならなかったため、飛行中の機体振動等により、ロック機構が解除され、カーゴドアが外れ落下。

３　再発防止策
（１）カーゴドア取り外し時におけるロック機構の損傷防止手順の設定
（２）カーゴドアのロック状態を外側から確認できる表示を追加
（３）ロック機構が損傷していた場合にも、カーゴドアが落下しない機構の追加
（４）カーゴドアのロック機構の特性及び再発防止に係る教育の実施

知名町議会議員政治倫理条例の制定について

　本条例は、昨年６月から必要性が議論され政治倫理条例検討委員会を設置し、数回にわたる検討会を経て、今回議決されたところであります。
　条例の骨子は、知名町議会が目指している町民に真に開かれた議会運営は、議員に対する揺るぎない信頼のもと、町民に信頼される公正で真に開かれた議会活動を実施するために議員は町民の代表者としての高い倫理観と深い見識により、議員の政治倫理の確立を図り、誇りと自信をもって町政の一翼を担っていくことが肝要であります。条例には政治倫理基準を設け、①権限や地位を利用して金品を受けないこと。②町が行う工事等の請負契約に特定の業者や団体の便宜を図らないこと。③町職員（臨時職員を含む）の採用、昇任等の人事異動に関し不当に関与しないこと等を明文化し、違反が疑われた場合の政治倫理審査会設置などを定めたものであります。
　知名町議会は、町民の代表機関として議会及び議員の活動の活性化を図り、知名町の持続的な町民福祉の向上に努めて参ります。

編集後記

　盛夏の候、町民の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平成三十年、第２回定例会を六月十九日から六月二十二日までの四日間開催しました。今回の一般質問は９名の議員が登壇し人口減少や福祉関連、教育行政や新庁舎建設など町政全般に対して質疑応答がなされました。また報告事案から専決承認、そして議案審議など多くの案件を議決して無事終了しました。また、今回の定例会にも多くの町民の皆様に議会傍聴していただき有難うございました。これからは新庁舎建設、老人ホーム（長寿園）、給食センターの建て替えなどもありますが、七月一日から奄美群島アイランドホッピングルートが開設され交流人口の拡大が期待されます。観光振興の面でも注目していきたいと思います。
　結びになりますが、六月二十六日には奄美地方も梅雨明けをし、これから夏本番になりますが、体調管理には十分留意され楽しい夏をお過ごし下さい。

議会広報委員長　新山　直樹